

忠岡町都市計画マスタープラン



令和3年(2021年)3月
忠岡町

ごあいさつ

本町は、大阪の市街地と関西国際空港の中間に位置しており、北の大津川水系や西の大阪湾などの水と緑を有し、古くには紀州街道を基点に人が集い、まちが栄えてきました。

戦後、高度経済成長期には、新浜地区を含む木材コンビナートが完成し、本町の産業基盤が確立するとともに、河川の改修事業や国道の敷設に伴う土地区画整理事業が進められたことで、市街化も進み現在の都市骨格が形成されてきました。

一方、昨今では、人口減少・少子高齢化が進行しており、全国の都市が抱える課題は大きく変化し、本町においても例外ではありません。

このような状況のもと、本町においては持続的なまちの発展に向けて、新たな世代の定住・転入促進を図ることが重要であると考えます。そのためには、子育て環境の充実、高齢者の生きがいづくりに取り組み、大規模震災や集中豪雨など自然災害への備えを充実させるなど、まちの魅力向上に向けて、計画性を持った都市政策の推進が重要となります。

本町としましては、長年守り育まれてきた歴史・文化や河川・海などの地域資源を最大限活用しながら、子どもから高齢者まで多様な世代が、安全で快適に暮らすことのできる環境づくりや、駅の周辺などにおいて人が集まる都市拠点づくりを進めるとともに、人々の回遊性を高める交通網の整備を行うことで、更なる賑わいと魅力にあふれるまちの実現を図りたいと考えています。

こうした観点から、「住みたいと選ばれるまち 住み続けたいくなるまち 愛着と誇りを持てるまち ただおか」を将来像に掲げて、「忠岡町都市計画マスタープラン」の改定を行いました。

今後は、産・官・学や金融、住民などの多様な主体と、「忠岡町都市計画マスタープラン」で示した課題や方向性を共有しながら、協働・連携して将来都市像の実現を目指していくため、皆様方のより一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の改定にあたり、貴重なご意見をお寄せいただきました住民の皆様、多大なご尽力を賜りました忠岡町都市計画審議会委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

令和3年3月



忠岡町長 杉原 健士

キヨシ

目次

序章 都市計画マスタープランについて

1 計画の背景と目的	1
2 計画の位置付け	2
3 計画の対象区域及び期間	2

第1章 忠岡町の現状と都市づくりの課題

1 忠岡町の現状	3
2 上位計画の整理	39
3 住民意向の把握	43
4 都市づくりの主要課題	52

第2章 全体構想

1 都市づくりの目標	56
2 将来都市構造	60
3 都市づくりの基本方針	64

第3章 地域別構想

1 地域区分の考え方	86
2 地域別構想	88

第4章 計画の推進

1 多様な主体の参画と協働によるまちづくり	106
2 効果的かつ効率的なまちづくりの推進	108
3 計画の検証と見直し	109

資料編

○ 忠岡町都市計画マスタープラン 策定経緯	110
-----------------------------	-----